

注意：バルーン最大容量以上注入しないこと。(ガイディングカテーテルへの挿入・抜去が困難となるため)カテーテル全体を濡らした状態でガイディングカテーテルに挿入すること。目的血管径を確認し、血管径に合わせた注入容量を慎重に注入してバルーンを拡張させること。

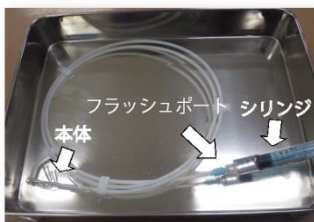
PinnacleBlue20 <バルーンコンプライアンス・フローレート>

注入容量	0.05mL	0.10mL	0.15mL	0.20mL	有効長 [cm]	Flow Rate[mL/sec.]			Deadspace volume[mL]
						造影剤名称	600psi	750psi	
バルーン 直径[mm]	3.4	4.6	5.4	6.1	110	イオパミロン 300	1.8	2.2	0.28
					135		1.3	1.7	

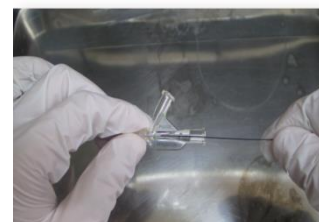
<バルーン拡張液>
造影剤(ヨード含有 300mg/mL)：生理食塩水
(1：1)の比率の混合溶液

<試験条件>
装置：メドラッドマークVプロビス(メドラッド社)
造影剤温度：37℃ リニアライズ：0.3sec. 注入量：10mL

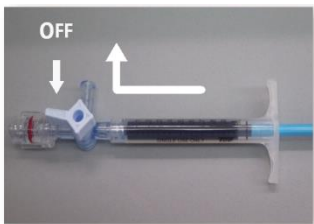
<プライミング手順>



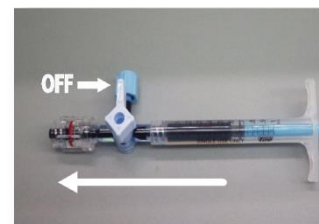
①ヘパリン加生理食塩液を満たした 10mL シリンジをフラッシュポートに取り付け、ホルダー内をフラッシュする。10秒以上経過後、ゆっくりと本品を取り出す。



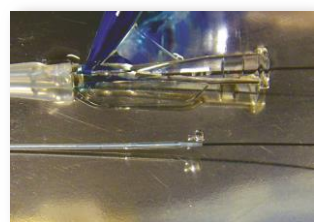
②ガイドワイヤーポートをヘパリン加生理食塩液でフラッシュした後、0.018inch 以下のガイドワイヤーを挿入する。



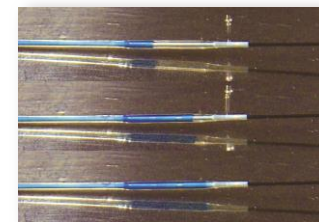
③1mL シリンジに拡張液を 1mL 満たし、キャップを外した三方活栓に取り付ける。シリンジの内筒を押し、矢印の方向に拡張液を注入し、三方活栓を満たす。



④三方活栓のキャップを締め、三方活栓のコックを開き、矢印の方向に三方活栓を拡張液で満たし、バルーンポートに取り付ける。

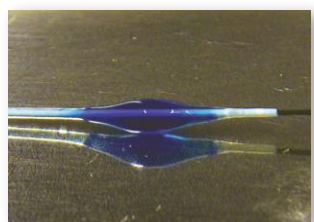


⑤バルーン先端を上向きにして、生理食塩液中に沈め、バルーンが拡張しないように拡張液 0.3mL を 30 秒かけて注入する。



⑥バルーンの先端(パージ孔)から気泡が出てくることを確認しながら、バルーン先端まで拡張液で満たす。

注意：プライミング時バルーン先端を下に向けると、バルーン内に空気が残る。



⑦バルーン拡張液 0.05~0.10mL にて、バルーン拡張させて、リーク等の異常がないことを確認する。



⑧バルーンを生理食塩液中に沈め、シリンジの内筒を引いて、バルーンを完全収縮させ、シリンジの内筒をはなす。三方活栓を閉じ、シリンジ内の拡張液をバルーン最大容量の 0.2mL に調整する。

注意：バルーン表面を濡らした状態で拡張しないと、バルーンは偏拡張しやすくなる。

注意：完全収縮に 90 秒以上かかる製品を使用しないこと。

PinnacleBlue27 <バルーンコンプライアンス・フローレート>

注入容量	0.05mL	0.10mL	0.15mL	0.20mL	0.25mL	0.30mL	0.35mL	0.40mL	0.45mL	0.50mL
バルーン直径[mm]	4.4	5.8	6.6	7.4	7.8	8.1	8.5	9.1	9.5	9.9

<バルーン拡張液>

造影剤(ヨード含有 300mg/mL) : 生理食塩水 (1 : 1)の比率の混合溶液

有効長 [cm]	Flow Rate[mL/sec.]		Deadspace volume[mL]	
	造影剤名称	600psi		750psi
125	イオパミロン 300	3.7	4.2	0.59
135		3.1	3.7	0.64

<試験条件>

装置 : メドラッドマークVプロビス (メドラッド社)

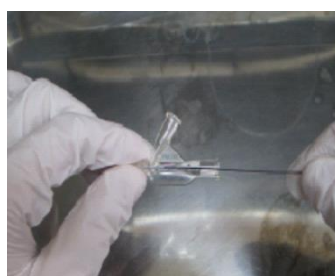
造影剤温度 : 37°C リニアライズ : 0.3 sec.

設定注入量 : 10mL

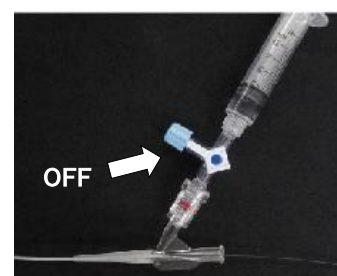
<プライミング手順>



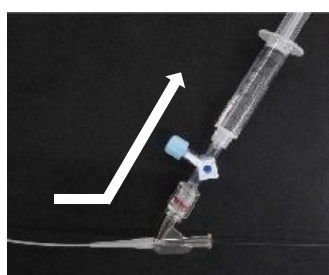
①ヘパリン加生理食塩液を満たした 10mL シリンジを**フラッシュポート**に取り付け、ホルダー内をフラッシュする。**10 秒以上**経過後、ゆっくりと本品を取り出す。



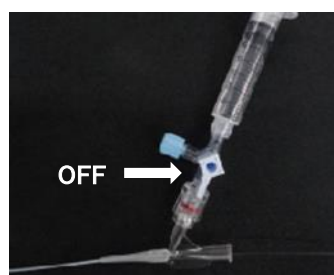
②ガイドワイヤーポートをヘパリン加生理食塩液でフラッシュした後、**0.025inch 以下**のガイドワイヤーを挿入する。



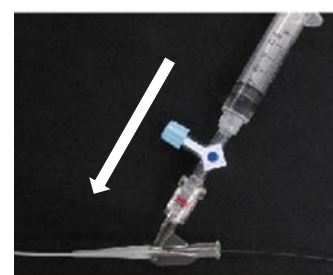
③**50%造影剤**の拡張液で 3~5mL シリンジと三方活栓のエアを抜き、シリンジ容量を 1mL に調整する。バルーンポートに三方活栓を取り付ける。



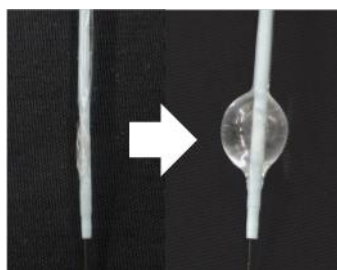
④シリンジの内筒を引きバルーンを収縮させる。内筒を引き保持した後、三方活栓を閉じる。



⑤シリンジ内のエアを抜き、再度バルーンポートに取り付け、④~⑤を 2~3 回繰り返してデッドスペース内のエアを抜く。



⑥**生理食塩液**中に浸漬させた状態で、拡張液をゆっくりと注入する。
 ・ 6mm 仕様 : 0.1~0.2mL
 ・ 10mm 仕様 : 0.3~0.4mL



⑦カテーテル先端を**下向き**にして、バルーンを収縮させ、三方活栓を閉じる。バルーン内が拡張液で満たされるまで、⑥~⑦を繰り返す。



⑧拡張液で満たした 1mL シリンジをバルーンポートに取り付け、三方活栓を開けデッドスペースを満たす。シリンジ容量をバルーン最大容量 (6mm 仕様 : 0.2mL、10mm 仕様 : 0.5mL) に調整する。



⑨拡張液を注入し、バルーンにリーク等の異常がないことを確認する。バルーンを収縮させ、三方活栓を閉じる。

注意 :

バルーンを生理食塩液中に浸漬させた状態で拡張すること。(しっかりと濡れた状態で拡張しないと偏拡張しやすくなる)